

# カーチュン・ウォンの「巨人」& メネセスのショスタコーヴィチ

世界が注目する気鋭がPAC定期初登場  
名チェリストの自在な表現を聴く

指揮：カーチュン・ウォン  
チェロ：アントニオ・メネセス  
管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団



Kahchun Wong  
Conductor



© Clive Barda

Antonio Meneses, Cello

ショスタコーヴィチ：  
**チェロ協奏曲 第1番** 変ホ長調 op.107  
Dmitry Shostakovich: Cello Concerto No.1 in E flat major, op.107

マーラー：  
**交響曲 第1番** 二長調「巨人」  
Gustav Mahler: Symphony No.1 in D major, "Titan"



Hyogo Performing Arts Center Orchestra



2019 **11/22(金)・23(土・祝)・24(日)** 3:00pm開演 兵庫県立芸術文化センター **KOBELCO** 大ホール  
(2:15pm開場) 〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口ログ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

A席4,000円 B席3,000円 C席2,000円 D席1,000円(全席指定税込) ご予約・お問合せ **芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255** [10:00am-5:00pm 月曜休み※祝日の場合翌日]

一般発売  
**6/16** 日

チケット予約  
●芸術文化センター 0798-68-0255 <http://www.gcenter-hyogo.jp>  
●イープラス <http://eplus.jp> (パソコン&携帯)  
●チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード 147-488] <http://pia.jp/t/>  
●ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター対応)、0570-084-005 [Lコード 53765] <http://l-tike.com>

芸術文化センター  
会員先行予約受付開始 **6/15** 日

直接購入  
芸術文化センター2階総合カウンター [6/18 (火)より、残席がある場合のみ] ローソン、ミニストップ[Loppi]、ファミリーマート[Famiポート]、セブンイレブン[マルチコピー機]

※プレイガイドでのお取り扱いについては各プレイガイドにお問い合わせください。※未就学児童のご入場はご遠慮ください。  
※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

©主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

## 兵庫芸術文化センター管弦楽団 第119回定期演奏会

今、世界から熱い注目を集める若手指揮者カーチュン・ウォンが、PAC定期に初登場。1986年シンガポール生まれ。大指揮者クルト・マズア晩年の愛弟子として学び、2016年グスタフ・マーラー国際指揮者コンクールに優勝。ニュルンベルク交響楽団首席指揮者に就任するなど、急激に活躍の場を広げる気鋭です。

ショスタコーヴィチのチェロ協奏曲第1番でソリストに迎えるのは、ブラジル生まれの名手、アントニオ・メネセス。キレのあるリズム、斬新なハーモニーを持つショスタコーヴィチの世界を、ベテランの自由自在な音楽表現で存分にお楽しみください。

そして後半は、マーラーが20代後半に書いた自伝的な交響曲といわれる、第1番「巨人」。タイトルは、ジャン・パウルの同名の小説に由来し、若々しい情熱、苦悩や葛藤、未来への意欲が大編成のオーケストラで表現されます。

カーチュン・ウォンが、同世代のPACとの間でどんな化学反応を起こすのか。どうぞご期待ください。

指揮：カーチュン・ウォン

Kahchun Wong, Conductor



2016年第5回グスタフ・マーラー国際指揮者コンクール優勝。世界へ大きく羽ばたく、現在最も注目を集める若手指揮者の一人。マズアの愛弟子として大きな影響を受け、さらに、ドゥダメル、ハイティンク、ホリガー、サロネンといった錚々たる指揮者からも薫陶を受ける。コンクール直後には、急病のヘスス・ロペス＝コボスに代わり、中国各地のオーケストラの定期演奏会を指揮し喝さいを浴びた。2018年9月からはニュルンベルク響首席指揮者に就任予定など、その輝きを一段と増している。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管や新日本フィルなどを指揮。今後はバンベルク響、上海響、シンガポール響等との再共演も予定されており、各オーケストラから大きく期待されている。1986年、シンガポール生まれ。7歳でトランペットを始め、ヨン・シュトゥウ音楽院（シンガポール国立大学）で作曲を学ぶ。その後ハンス・アイスラー音楽大学（ベルリン）に進み、指揮を学ぶ。

チェロ：アントニオ・メネセス

Antonio Meneses, Cello



1957年、ブラジルの音楽一家に生まれ、10歳でチェロをはじめ。16歳で著名イタリア人チェロ奏者アントニオ・ヤニグロと出会い、門下生となり渡欧。1977年にはミュンヘン国際音楽コンクール、1982年にはモスクワのチャイコフスキー国際コンクールで優勝を果たす。世界有数のオーケストラや世界を代表する指揮者との共演も多く、その中には、ベルリン・フィル、コンセルトヘボウ管、ロンドン響、サンクト・ペテルブルグ響、ニューヨーク・フィル、カラヤン、ヤンソンス、アバド、ティルカノーフ等が挙げられる。また室内楽奏者としても高い評価を得ている。レコーディングも活発に行っており、ドイツ・グラモフォンから発売されたカラヤン指揮ベルリン・フィルとのブラームスの二重協奏曲（Vn：アンネ＝ゾフィー・ムター）とR.シュトラウスの「ドン・キホーテ」の2枚は現在でも高い評価を得ている。後進の指導にも熱心で、2008年からはベルン音楽院で教えている。

## 兵庫芸術文化センター管弦楽団

Hyogo Performing Arts Center Orchestra

2005年9月に設立。世界中でオーディションを行い、世界各地から若手演奏家を集め優秀な人材を輩出するアカデミーの要素も持つ、世界でも類を見ない新しいシステムのオーケストラ。芸術監督は佐渡裕が務め、定期演奏会をはじめ、名曲、ファミリー、ポップス等のコンサートや室内楽シリーズ、県内中学1年生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」、毎年夏の芸術監督プロデュース・オペラでの演奏など、多彩な活動を展開している。2006年関西元気文化圏賞ニューパワー賞、2011年神戸新聞平和賞、2017年ミュージック・ペンクラブ賞受賞。通称PAC（パック）オーケストラ。 [http:// hpac-orc.jp](http://hpac-orc.jp)



<http://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター  
Hyogo Performing Arts Center

**先行予約会員募集中!**

詳しくは、<http://www.gcenter-hyogo.jp>

### 便利なアクセス!!

大阪・梅田からも神戸・三宮からも  
ホールまで15分

(阪急電車特急乗車の場合)

◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

